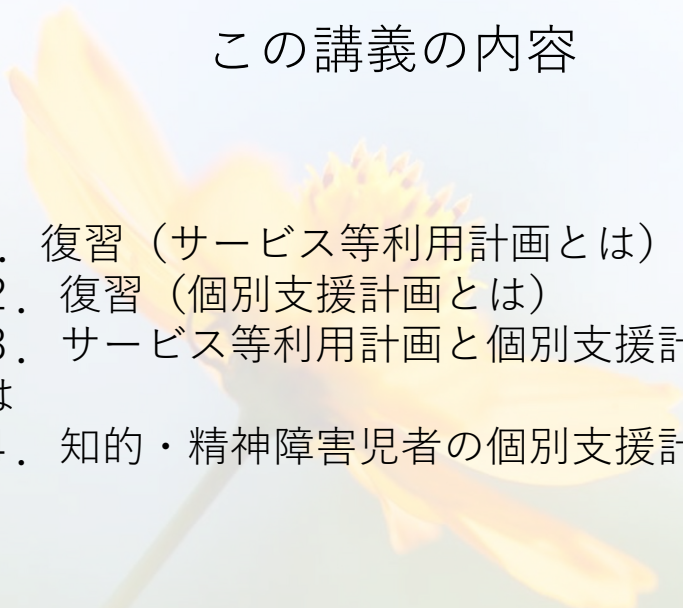


サービス等利用計画と 個別支援計画の関係

知的・精神障害者の支援に関して

本庄ひまわり福祉会 本名 靖

1



この講義の内容

1. 復習（サービス等利用計画とは）
2. 復習（個別支援計画とは）
3. サービス等利用計画と個別支援計画の連携とは
4. 知的・精神障害児者の個別支援計画

2

サービス等利用計画と個別支援計画作成のプロセス



3

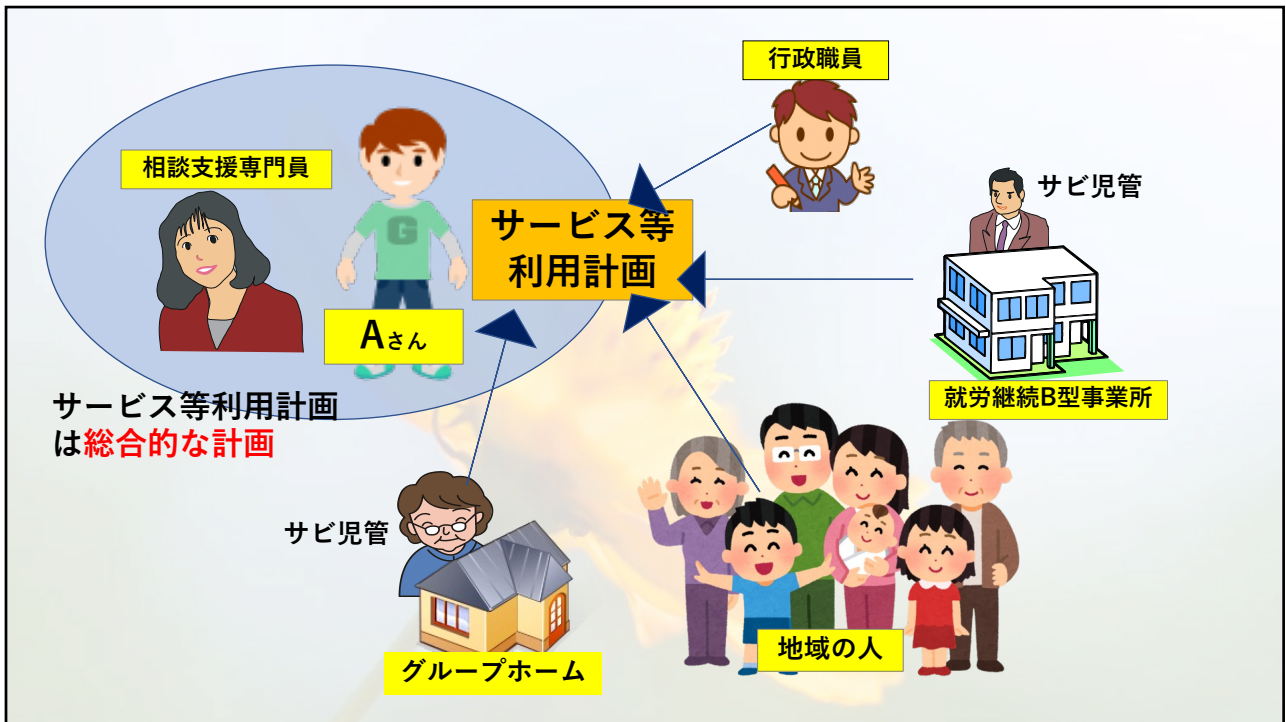
作成のプロセスは同じ

何が違うの？

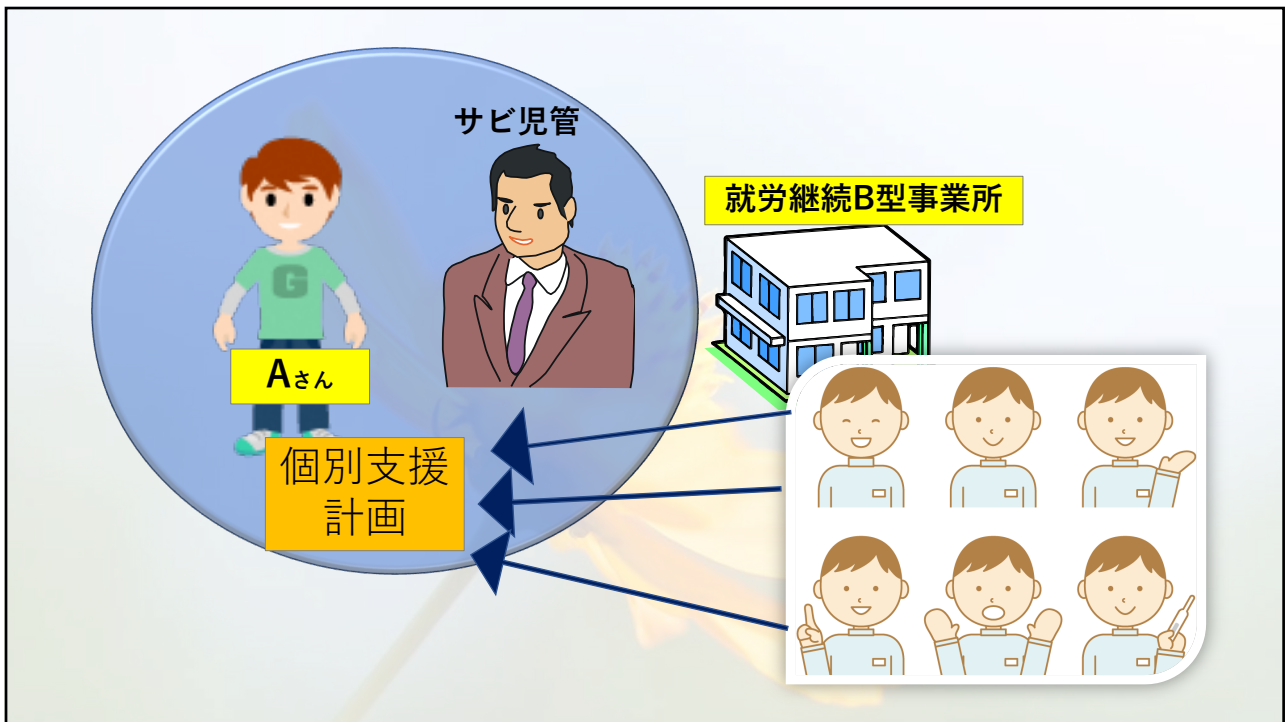


1. 作成者が違う（相談支援専門員とサビ児管）
2. 総合的な計画か各サービス事業所の計画か

4



5



6

サービス等利用計画と個別支援計画の連携

サービス等利用計画

サービス担当者会議の実施

提示された総合的な支援の方針をサービス担当事業所のサビ児管等が検討し、確認する。その内容がサービス等利用計画に反映される



個別支援計画

個別支援会議の実施

総合的な支援の方針が個別支援計画に反映され、具体的な計画を吟味する

サービス等利用計画における総合的な援助方針を導き出すプロセスを理解し、個別支援計画の出発点がサービス等利用計画の総合的な援助方針であることを認識する。

7

言語能力が少ない知的障害者の個別支援計画を作成する場合の注意点

サービス等利用計画

十分な聞き取りが出来ないので、Aさんのご家族や周りの人々から状況を聞き取り計画を作成する

総合的な支援方針は妥当なものか十分検討されている



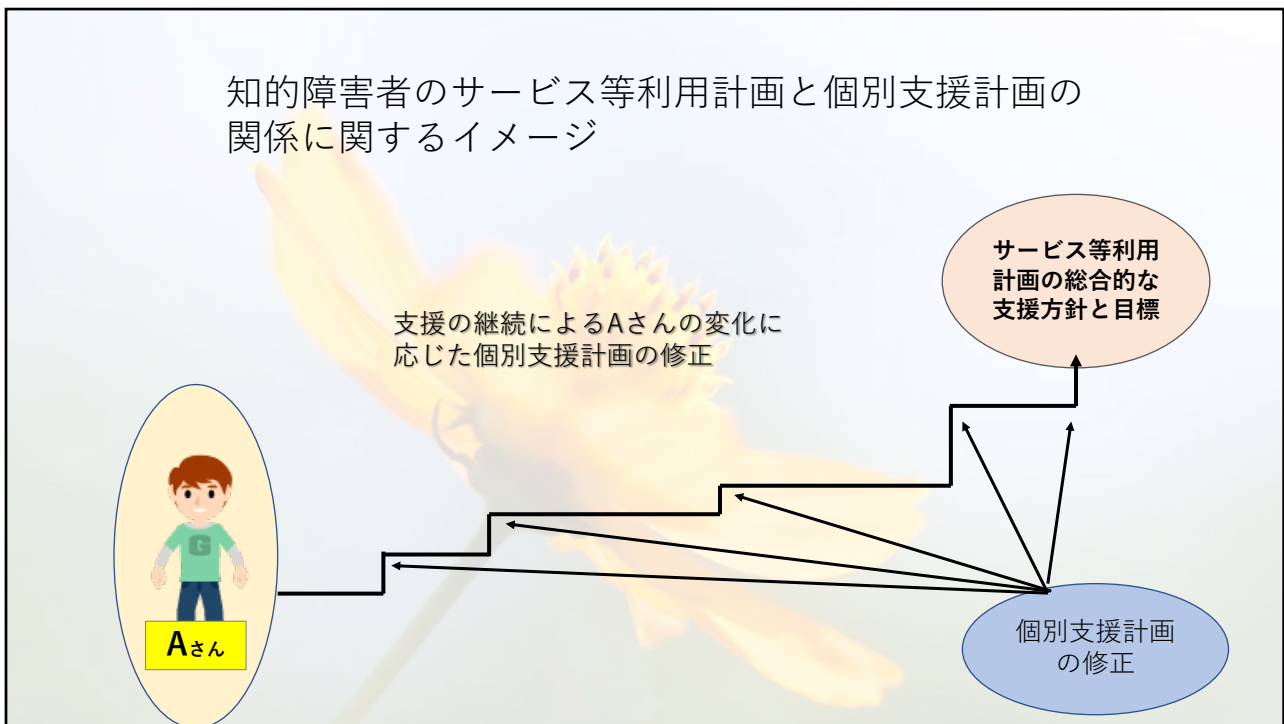
Aさん

個別支援計画

Aさんとの継続的な関わりから当初作成した個別支援計画を修正することが出来る

8

知的障害者のサービス等利用計画と個別支援計画の関係に関するイメージ



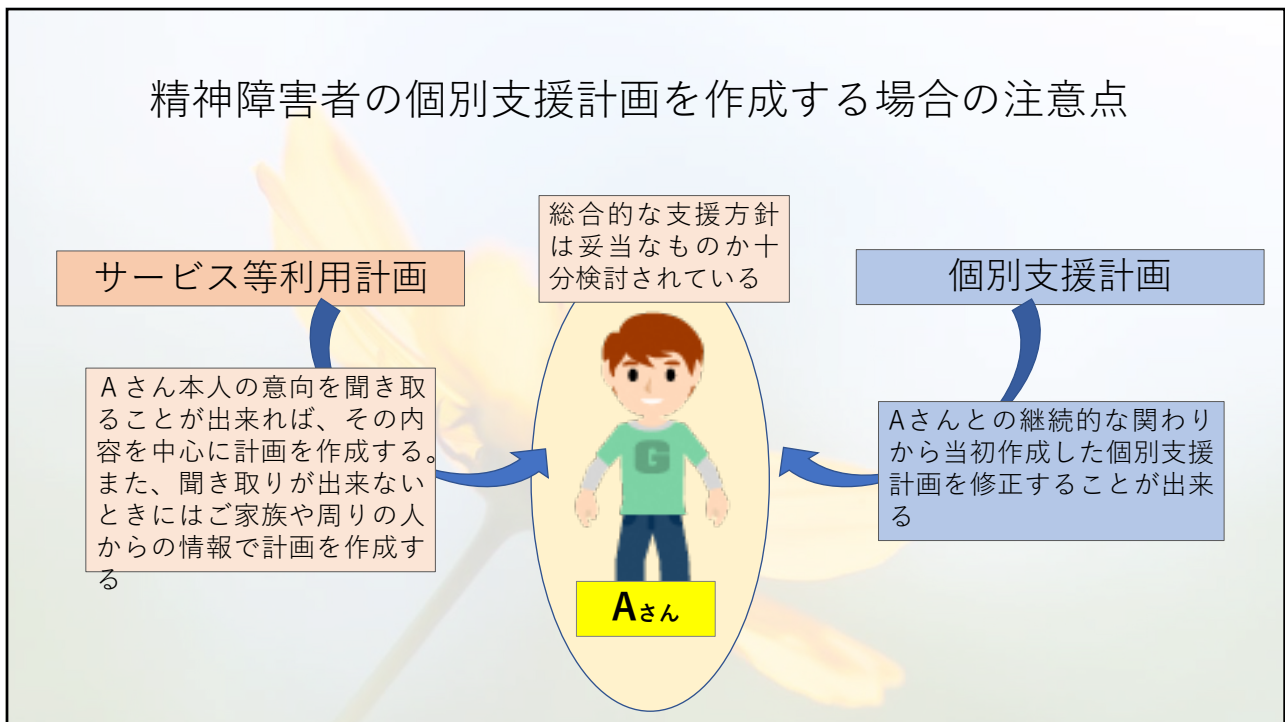
9

段階的な個別支援計画の修正

前項のイメージ図のように、支援の結果少しずつサービス等利用計画の長期目標に近づいていくことが必ず保証されるわけではないが、支援の力が発揮されれば、このイメージ図のように少しずつサービス等利用計画の総合的な支援方針に従って長期目標に近づいて行くことになる。個別支援計画は各段階で修正して行くことが必要になる。

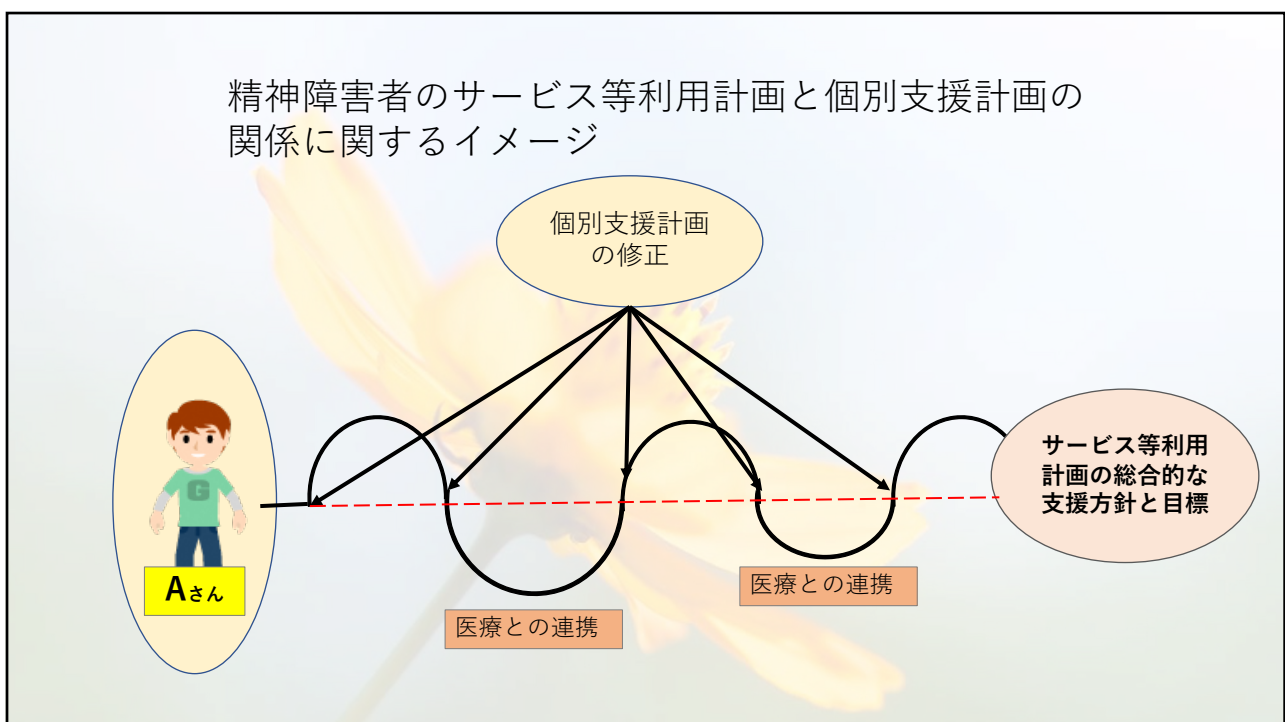
10

精神障害者の個別支援計画を作成する場合の注意点



11

精神障害者のサービス等利用計画と個別支援計画の関係に関するイメージ



12

精神活動の波に合わせた個別支援計画の修正

精神障害者の場合には、精神状態の変動に合わせて個別支援計画の変更が必要になることが予想される。精神活動が低下した時には、当然医療との連携を密にし、普段の精神状態に近づけ行くことが必要である。また、精神的な高揚状態の時にも普段の精神状態に戻していくことが必要になる。

13

在宅生活の支援に関する危惧

訪問系のサービスにはサービス管理責任者が配置されていない。サービス提供責任者が訪問介護計画などを作成する。施設や病院から地域に出た障害者に対する訪問系のサービスは訪問介護計画（個別支援計画）が作成されるが、サービス管理責任者研修を受けて、個別支援計画を作成するわけではないことが懸念される。

14